

## 硫黄島で得られた有剣ハチ類

寺山 守

(〒339-0054 岩槻市仲町2-12-29)

TERAYAMA, Mamoru : Aculeate wasps from Iwo island, the Volcano Islands.

北硫黄島, 硫黄島 (中硫黄島), 南硫黄島の3つの火山島からなる火山列島は, 小笠原群島のさらに南方の洋上にあり, 本土から硫黄島まで約 1,250km 離れた距離にある. また, 硫黄島からさらに約 1,100km 東方に南鳥島 (マーカス島) が, 約 600km 南西方には沖ノ鳥島が孤立して存在する (図1). これらの地域からは膜翅目の有剣類として, 硫黄島からアリ科 18 種 (寺山, 1999, 2002; 寺山・久保田, 2002) の他, *Subancistrocerus domestics* (ドロバチ科), フカイオオドロバチ *Rhynchium quinquecinctum* (ドロバチ科), ナンヨウチビアシナガバチ *Ropalidia marginata* (スズメバチ科), ベンガルルリジガバチ *Chalybion bengalense* (アナバチ科), アメリカジガバチ *Sceliphron caementarium* (アナバチ科),

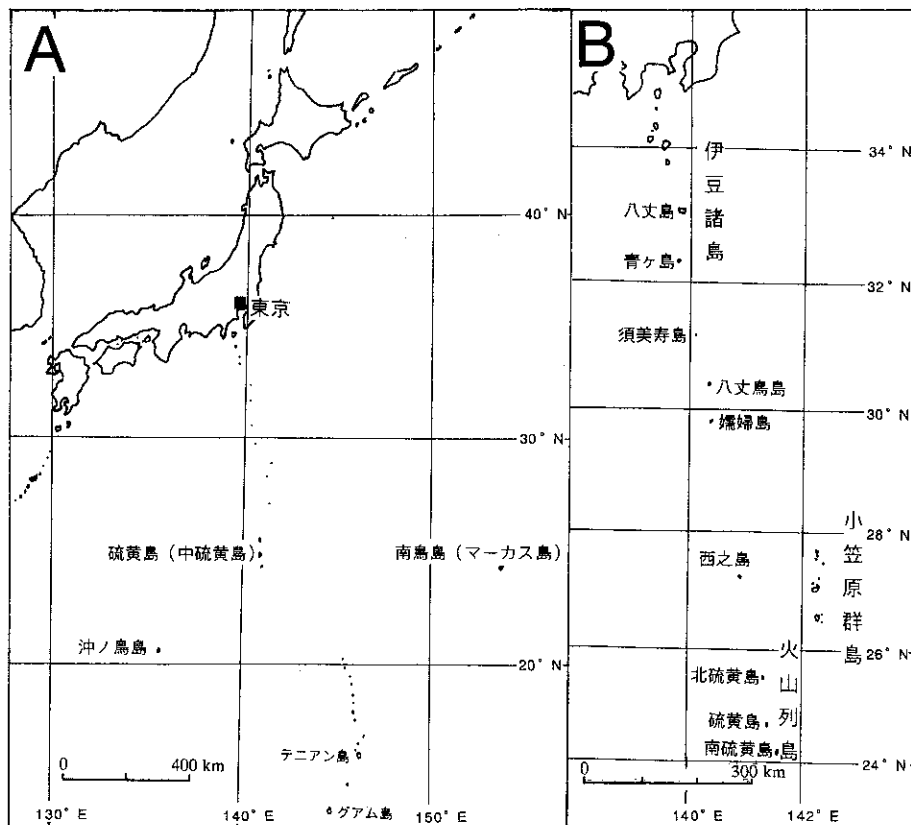


図1. 硫黄島及びその周辺の島嶼. A, 硫黄島, 南鳥島, 沖ノ鳥島. B, 伊豆諸島, 小笠原群島, 火山列島.

キンイロコロギバチ *Liris aurulentus* (ギングチバチ科), ソノーラクマバチ *Xylocopa sonorina* (ミツバチ科) の 5 科 7 属 7 種のハチ類が報告されている (Yamane, 1991; 高橋, 2001). 北硫黄島からは 7 種のアリ (内, ケブカハリアリとオオシワアリの 2 種のみ) の学名が決定されている) と 2 種の有剣ハチ類 (オガサワラツヤハナバチ *Ceratina bonienseis* 及び *Megacile rixator*) が報告されており (佐藤, 1982a), 南鳥島からは同定疑問種を除いた 5 種のアリ (アカカミアリ, アワテコヌカアリ, アシジロヒラフシアリ, ミゾヒメアリ, ヒゲナガアメイロアリ) と 4 種の有剣ハチ類 (チビアシナガバチの 1 種, ルリジガバチの 1 種, アメリカジガバチ, ドロバチ科の 1 種) が記録されている (Bryan, 1903; Sakagami, 1961; 森本, 2001; 寺山・久保田, 2002). いずれの島においても民間の航路はなく, 生物相調査の実施が困難な状況にある事から, これらは日本の最南端に位置する地理的に興味深い地域であるにも拘らず, 生物学的知見の甚だ不十分な地域となっている.

筆者はアカカミアリ *Solenopsis geminata* の生息・被害状況調査のために, 2001 年 4 月 24 日から 26 日までの間, 硫黄島を訪れる機会を得た. 硫黄島は面積 22 km<sup>2</sup> の小島で太平洋戦争時最大の激戦地の一つである. 戦後, 焦土化した本島に米軍によってギンネムの種子が大量に空中散布されたこともあり, 現在植生のほとんどはギンネム林を中心とした代償植生である. また, 火山活動が活発で, 地温が高く, 40–50°C の地熱の場所もある. 島のいたる所に噴気口があり, 硫黄を含む水蒸気が噴出している. 現在, 島全体が自衛隊基地として使われており, 島の中央部は飛行場になっている. 今回のアカカミアリ調査の際に, 若干の有剣ハチ類を採集, あるいは確認することが出来たので, ここに報告しておきたい. なお, 今回の調査は農林水産省及び防衛庁からの要請による事と, 火山列島は特別天然保護区域に指定されているが, 海上・航空自衛隊硫黄島基地は保護区域から除外されていることを付け加えておく.

#### ドロバチ科 Eumenidae

フカイオオドロバチ *Rhynchium quinquecinctum* (Fabricius, 1787) 3 雌

亜種 *brunneum* (Fabricius, 1793) とされているもので, 本亜種は太平洋諸島, 台湾からインドシナ半島, インドまで広く分布する. 日本からは高橋 (2001) によって硫黄島から初めて記録された. 本島ではごく普通に見られ, 建築物の壁や塀に泥製の巣が見られる.

#### スズメバチ科 Vespidae

ナンヨウチビアシナガバチ *Ropalidia marginata* (Lepelletier, 1836) 60 職蜂・雌

本島のものは亜種 *sundaica* van der Vecht, 1941 とされ, 東南アジアに広く分布する. 日本では硫黄島のみに見られ, Yamane (1991) によると 1981 年から生息が確認されている. 現在では島内にごく普通に巣が見かけられる (図 3-A, B).

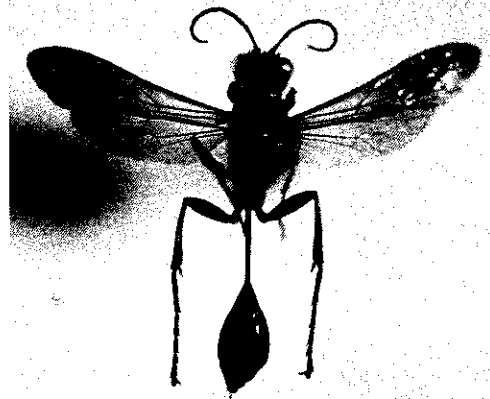
#### アナバチ科 Sphecidae

ベンガルルリジガバチ *Chalybion bengalense* (Dahlbom, 1845) 1 雌

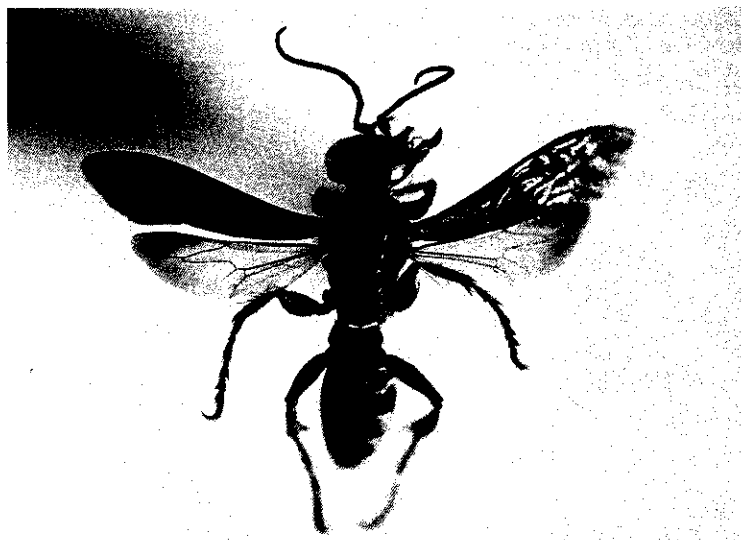
太平洋諸島からオーストラリア, 東南アジア, アフリカにかけて広く分布する種で, 日本では琉球列島と小笠原諸島から得られている. 硫黄島では稀ではないが, フカイオオドロバチやアメリカジガバチよりは目視個体数が少なかった.



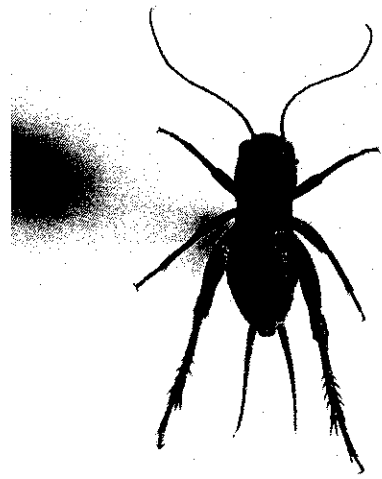
A



B



C



D

図2. 硫黄島産のハチ類.

A, フカイオオドロバチ硫黄島亜種 *Rhynchium quinquecinctum brunneum* (Fabricius, 1793).  
B, アメリカジガバチ *Sceliphron caementarium* (Drury, 1773). C, キンイロコオロギバチ  
*Liris aurulenta* (Fabricius, 1787). D, キンイロコオロギバチが運搬していた獲物.

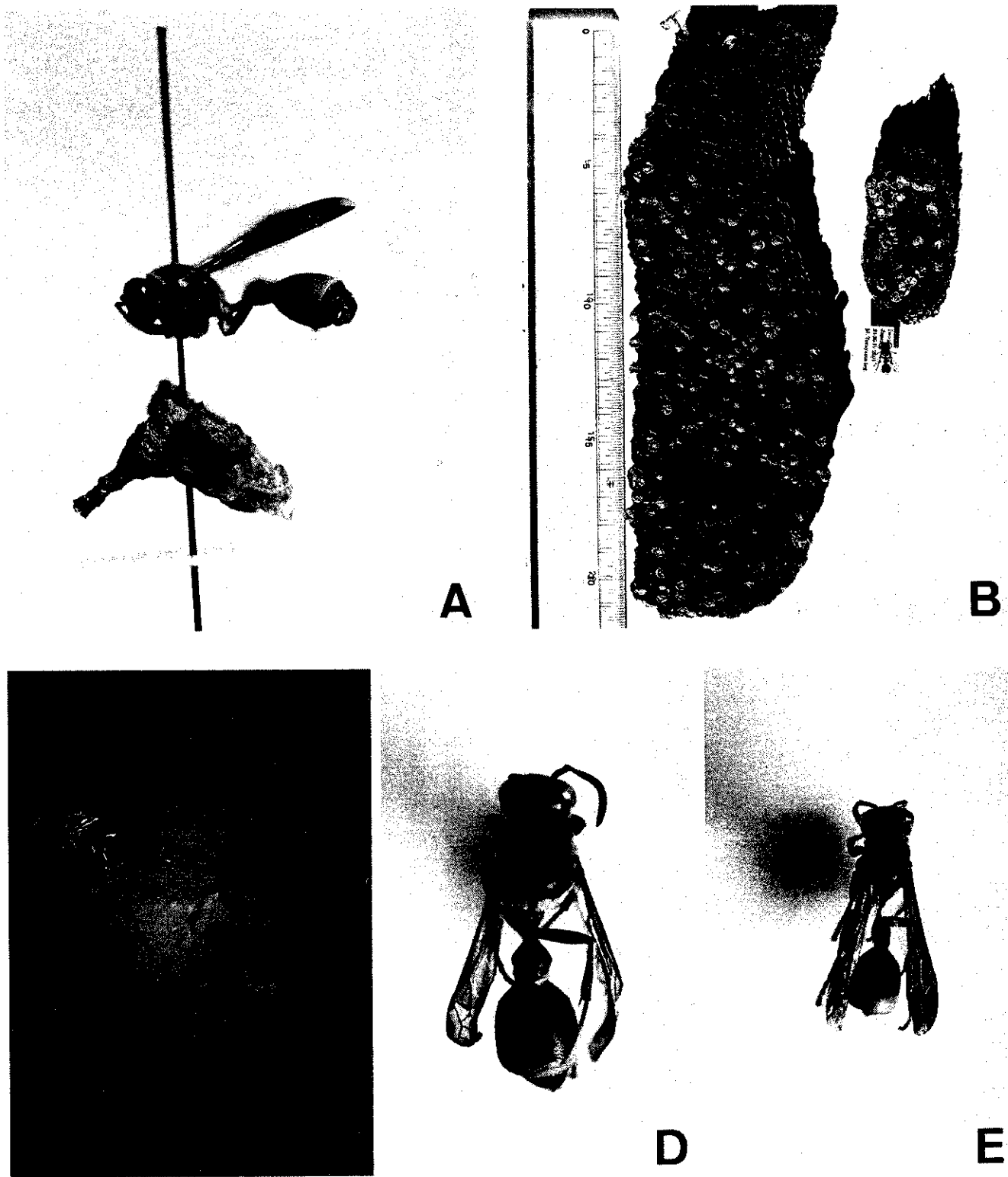


図3. ナンヨウチビアシナガバチとオキナワチビアシナガバチ.

A, 硫黄島産ナンヨウチビアシナガバチ *Ropalidia marginata sundaica* van der Vecht, 1941の女王と創設巣 (4月25日採集). B, ナンヨウチビアシナガバチの巣 (4月25日採集). C, ナンヨウチビアシナガバチ (働き蜂). D, ナンヨウチビアシナガバチ (女王). E, オキナワチビアシナガバチ *Rhopalidia fasciata* (Fabricius, 1804) (働き蜂; 沖縄島産).

アメリカジガバチ *Sceliphron caementarium* (Drury, 1773) 4 雌

熱帯・亜熱帯地域に広く分布する。日本では本州，九州，小笠原諸島に生息し，戦後，米軍の物資に伴って日本に侵入した帰化昆虫の一つである。

#### ギングチバチ科 Crabronidae

キンイロコオロギバチ *Liris aurulenta* (Fabricius, 1787) 1 雌

太平洋諸島に広く分布し，インドネシアやインドからも記録されている。日本では奄美大島以南の琉球列島に分布する。今回の調査ではコオロギの幼虫（図 2-D）を狩り，それを運搬中の 1 個体のみを発見し，採集した。

以上の種の他に，硫黄島産のソノーラクマバチ *Xylocopa sonorina* Smith（ミツバチ科）の樹脂封入標本を航空自衛隊硫黄島本部で見せていただいた。今回得られた，あるいは確認した種は，太平洋地域や東南アジアでの広域分布種で，硫黄島が 1968 年に返還されるまでは米軍の施政下であり，海外からの物資の搬入が多くなされていたことを勘案すると，これら全ての種が他地域からの人為的移入によるものと推定される。

#### 謝 辞

硫黄島での調査に際して，特にお世話になった農林水産省植物防疫所，海上自衛隊硫黄島航空基地隊及び航空自衛隊硫黄島基地隊の方々にお礼申し上げます。

#### 参 考 文 献

- Bryan, W. A. 1903. A monograph of Marcus Island. Bern. P. Bishop Mus., Occas. Pap., 2 (1) : 77-126.
- 森本 桂. 2001. 南鳥島の昆虫採集記. 北九州の昆虫, 48 (2) : 71-75.
- Sakagami, S. F. 1961. An ecological perspective of Marcus Island, with special reference to land animals. *Pacif. Sci.*, 15: 82-104.
- 佐藤正孝. 1982a. 南硫黄島の昆虫相. 南硫黄島原生自然環境保全地域調査報告. 環境庁自然保護局, 303-327.
- 佐藤正孝. 1982b. 南硫黄島昆虫調査行. 月刊むし, (147) : 4-8.
- 高橋秀男. 2001. 火山列島硫黄島の蜂. げんせい, 76: 9-10.
- 寺山 守. 1999. アリ科. 山根正気・幾留秀一・寺山 守著, 琉球列島産有剣ハチ・アリ類検索図説. 北大図書刊行会, 138-317.
- 寺山 守. 2002. 外来のアリがもたらす問題—アカカミアリとアルゼンチンアリを例に—. 昆虫と自然, 37 (3) : 16-19.
- 寺山 守・久保田敏. 2002. 東京都のアリ. 蟻, (26) : 1-32.
- Yamane, Sk. 1991. Occurrence of *Ropalidia marginata* on the Volcano Islands, Japan (Hymenoptera, Vespidae). *Proc. Jap. Soc. Syst. Zool.*, 45: 55-59.